

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年1月21日 (2016.1.21)

【公開番号】特開2014-106884(P2014-106884A)

【公開日】平成26年6月9日 (2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-261312(P2012-261312)

【国際特許分類】

G 0 6 F 1/32 (2006.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/00 3 3 2 Z

H 0 4 W 88/02 1 1 0

H 0 4 W 52/02

G 0 6 F 3/12 K

G 0 6 F 3/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月30日 (2015.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信を実行し、Awake状態とDose状態の遷移を繰り返すパワーセーブモードで動作可能な無線通信手段と、

前記パワーセーブモードを使用するか否かをユーザ指示に従って設定する設定手段と、画面を表示する表示手段と、

前記設定手段によって前記パワーセーブモードを使用すると設定されている場合に、前記表示手段が所定の画面を表示することを条件にして、前記パワーセーブモードを一時的に無効にする制御手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記表示手段が前記所定の画面の表示を完了した場合に、前記制御手段は、前記パワーセーブモードを有効に戻すことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記設定手段によって前記パワーセーブモードを使用すると設定されている場合、前記無線通信手段は、アクセスポイントのビーコンに同期して前記Awake状態と前記Dose状態の遷移を繰り返すことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記所定の画面は、外部装置から動画データを取得する機能に関する画面であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記動画データは、前記情報処理装置のメンテナンス手順を示す動画データであることを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記所定の画面は、外部装置から印刷データを取得する機能に関する画面であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記情報処理装置は、印刷処理を実行可能な印刷装置であることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

A w a k e 状態と D o z e 状態の遷移を繰り返すパワーセーブモードで動作可能な無線通信手段を備える情報処理装置の制御方法であって、

前記パワーセーブモードを使用するか否かをユーザ指示に従って設定する設定ステップと、

画面を表示する表示ステップと、

前記設定ステップで前記パワーセーブモードを使用すると設定されている場合に、前記表示ステップにおいて所定の画面を表示することを条件にして、前記パワーセーブモードを一時的に無効にする制御ステップとを有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

上述した課題を解決するために、本発明が提供する情報処理装置は、無線通信を実行し、A w a k e 状態と D o z e 状態の遷移を繰り返すパワーセーブモードで動作可能な無線通信手段と、前記パワーセーブモードを使用するか否かをユーザ指示に従って設定する設定手段と、画面を表示する表示手段と、前記設定手段によって前記パワーセーブモードを使用すると設定されている場合に、前記表示手段が所定の画面を表示することを条件にして、前記パワーセーブモードを一時的に無効にする制御手段とを備えることを特徴とする。